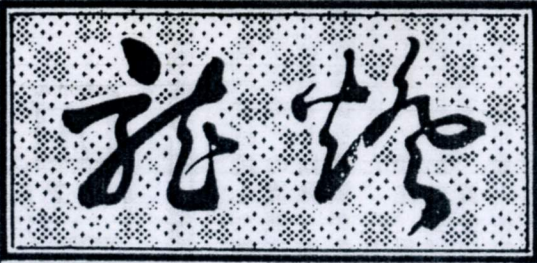


第18号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 霊 亀 山 九 島 禪 院
 〒550 大阪市西区本町3丁目4-18
 ☎06-583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



阪神淡路大震災により亡くなられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに

オウム真理教は仏教に非ず

空中浮揚のどこが偉い

連日オウム真理教が報道されています。坂本弁護士拉致事件松本サリン事件・地下鉄サリン事件・假谷さん拉致事件・銃器製造等々、オウム真理教がらみの疑惑には枚挙がなく、今回の一連の強制捜査で、オウム真理教の異常な実態と違法な行為が次々と明らかになってきました。オウム真理教は、自らを「原始仏教」と称しています。しかし、教義や修行の内容が明らかになればされるほど、仏教とはほど遠いものであり、仏教について誤解を与えるのではないかと懸念しています。

空中浮揚で若者たちの興味をそそり入信させ、お布施を強要し、反対する肉親を拉致監禁する。自らを神聖法皇と称し、富士山麓上九一色村に、多くのサチアンを建設。信者には、修行と称して、粗末なオウム食だけできき使ひ、「ハルマゲドン（世界最終戦争）が九七年におこるから、信者になる以外助かる道はない」など虚言を繰り返

し、予言を実行するために、銃器を密造保有し、サリンガスなど毒ガスを粉霧し、国民を恐怖のどん底に陥れました。

信者が目隠しをしてヨーガを組み跳ね回っている姿や頭にPSIという電極帽子をかぶり、修行に励む姿をテレビの映像で見かけます。

仏教の教えは、迷信・超能力などは一切否定しています。何よりも大事なことは、人間としての生き方なのです。現在の生き方がどうなのか、どういう人生観を持ち、何をなそうとしているのか、ということが大事な点です。現在、その人がどのような生き方をしていいるのか、この点によって、その人の価値が決まるのです。

座ったままでドスンと飛び上がるだけの「空中浮揚」など、また仮に空中で浮揚できたとしても、それがすごいことと騒ぐことは愚かなことです。空中に浮くなら、何も超能力を使わずとも、リフトかなにかを

使えばすむことです。空中に浮くという結果については、超能力であろうと、リフトを使おうと、いずれもたいした差はありません。

超能力で空中に浮くことが大事なのではなく、この人生をいかに価値的に生きることを遙かに大事なのです。スプーン曲げでマスコミで騒がれた少年は、その後、犯罪を犯して新聞ざたにさえなりました。超能力と人生の在り方とは関係がないのです。

視聴覚機材や薬物までも用いられて洗脳、妄想された地獄の恐怖感によって操られたオウム真理教の信者には、灯明となるべき自己の究明など、出来るはずもなく、教祖の操りロボットとしての生き方のみ追求しているのです。

このようなオウム真理教は、仏教とはほど遠い全く似ても似つかないものだと言えます。断じて許すことが出来ません。



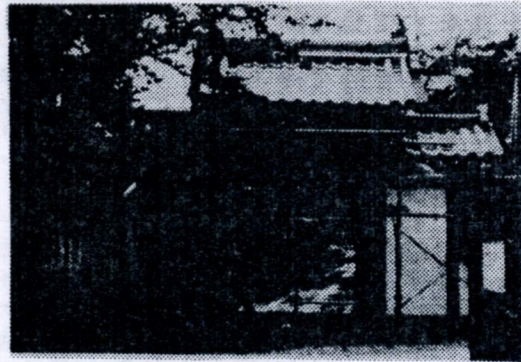
檀信徒の皆さまへ

○常休寺山門修復寄進

震災で被災した常休寺（伊丹市中野）の復興支援について検討した結果、半壊した山門の修復を当院が負担することにしました。三月初旬に中山工務店に発注。現在工事中で竣工まじかです。予算は八百万円です。資金の手当てとして、寄附金（5/11現在）十六万五千五百円、賽銭五万一千五百五十円。寺院会計より百九十八万五千五十円。不足分を、満中陰の挨拶文でご通知致しましたように、先の寺葬での香資・香典収入合計額八百三十万一千円より粗供養経費を差し引いた残額五百七十九万七千九百円を充てさせて頂きました。

○婦 人 部 の 創 設

ポランティア登録を
晋山・落慶法要、津送（寺



修復工事中の常休寺山門

葬）など、お寺の大きな行事が続きました。出入りの業者の加勢も得て、何とか円成できましたが、やはりお寺の檀信徒の皆様、特に細々と動いていただける女性方のお力が必要で

必要です。個々には「手伝ってあげよう」と申し出もありますが、お寺の方から気軽にお願いできるような組織があればなお常々思っていました。ボランティア名簿のように「手伝ってよい」と志願の方々を登

第二回修養会のご案内

本年の修養会は、紅葉の永源寺（臨済宗永源寺派大本山）と萬松派（当院ご開山龍溪禅師の建てられた寺院）の派頭寺院の正明寺（滋賀県日野）を拝塔します。正明寺は後水尾法皇さまの勅建寺院であり、御所の紫宸殿を移築した本堂や七堂伽藍が七万坪の境内に林立する禅道場です。是非、お誘いの上ご参加下さい。

募 集 要 項

- 日 時 10月29日（日）午前8時半出発
- 集合場所 九島院より貸し切りバスに乘車
- 旅 程 九島院一名神高速-正明寺-永源寺-果物狩り-九島院（5時半頃）
- 会 費 8000円（食事付き当日徴収）
- 募集人員 40名（満員になり次第締め切り）

お申し込みは、当院まで（☎06-583-2725）別紙申し込み用紙を添えて、お申し込み下さい。ご提出をお願いします。

○大震災百ヶ日法要厳修

録させていただき、有事の際にお願いさせて頂きたいと考えています。そのような機会を結成したく存じます。お手伝いできるお方は、是非にお寺までお申し出頂ければ幸いです。

黄檗宗大本山萬福寺主催の大震災犠死者百ヶ日慰霊法要が四月二十六日、被災寺院で

もある常休寺本堂跡地で厳修されました。前日の大雨も晴れ上がり被災遺族を含む参列者は百二十余名を数え、地元の新聞にも取り上げられました。法要には、萬福寺より管長親下をはじめ宗務総長ほか宗内七十名の僧侶が参集し盛大裏のうちには終りました。当院からは、芦屋で被災横死された都筑美喜さん、長田区で一家五人亡くなられた尾崎義夫さんご家族の塔婆回向のご供養をさせて頂きました

阪神淡路大震災により亡くなられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに

第二十四代弘忠和尚津送儀（寺葬）収支決算

収 入	金 額
香資収入（寺院より）	1. 365. 000 円
香典・お供え（その他）	6. 936. 000 円
寺 院 会 計	1. 915. 902 円
合 計	10. 216. 902 円
支 出	金 額
山 頭 儀 等 布 施	3. 940. 000 円
葬 儀 式	3. 415. 142 円
粗 供 養	2. 503. 100 円
中 陰 関 係	358. 660 円
合 計	10. 216. 902 円

（平成7年3月24日付 決算報告者 住職）

ご 案 内

水 灯 会
（うらばん施餓鬼法要）

法 話 ・ 住 職

8 月 1 9 日（土）
午後 1 時 半 より

○寺葬決算報告と本堂修理

先の寺葬の決算報告を左記表にてご報告いたします。尚五月十六日の総代会にてご承認を頂きました。又、弘忠和尚の百ヶ日法要にあわせて、五月十二日に住職墓地内に弘忠和尚の墓碑を建碑し納骨致しました。

震災で損傷した本堂白壁の修理工事には近々はいりませんが迷惑をお掛けしますが辛抱下さい。

皆様のご冥福をお祈りいたします。

祖先の御霊を自宅に迎え、お供物を供えお経をあげる日がお盆です。お盆には下図のような精霊棚をつくり置きます。昨今は仏壇の前にお供え用の机を用意するか、仏壇の引き出しを出して板を置き、真菰か白布を敷いて、その上にお供えを供えたりします。お供え物としては、ナスやキュウリで牛や馬を作ります。ホウズキや素麺も供えたりしますが、これはホウズキは提灯を形どり、素麺は家が長く続きますようにとの縁起ものです。ナスとキュウリは糞の目状に刻んだものを洗米とまぜ、蓮の葉を器にし

おぼん
ラ
ル

お盆は亡き人を偲ぶ先祖供養



盆棚飾りの一例

て入れたり、べつの葉には、数滴の水をたらしめます。百味の飲食を餓鬼に施す意味があります。

被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます

